

プレスリリース: 2012年10月25日
トピック: 新製品情報

仮想シャーシ機能対応のデータセンター向けスイッチ3製品を発表

- 初の HP BladeSystem向けIRF対応エントリースイッチと、基幹ネットワーク向け4スロット小型シャーシが新登場 -

2012年10月25日

日本ヒューレット・パッカード株式会社

日本ヒューレット・パッカード株式会社(略称:日本HP、本社:東京都江東区、代表取締役 社長執行役員:小出 伸一)は本日、ネットワーク製品のラインアップを拡張し、4スロット搭載の小型シャーシ「HP 12504 Switch Chassis」およびHP BladeSystem用インターコネクト「HP 6125G ブレードスイッチ」、「HP 6125G/XG ブレードスイッチ」を発表します。新製品はいずれも、仮想シャーシ機能「HP Intelligent Resilient Framework 2」(以下、IRF)に対応しており、中小規模から大規模データセンターまで単一アーキテクチャでカバーし、コスト効率の高い冗長ネットワークをシンプルな構成で実現します。

昨今、サーバーの仮想化が急速に進展する中で、データセンターネットワークに求められる要件も高度化しており、さらなる広帯域化、安定性、先進性、柔軟性、および標準化へのニーズが高まっています。日本HPでは、こうした市場背景を受け、ネットワークスイッチの新たなラインアップとして、中小規模データセンター向けの4スロット搭載の小型シャーシ「HP 12504 Switch Chassis」と、シンプルな冗長化構成を実現するHP BladeSystem用インターコネクト「HP 6125G ブレードスイッチ」、「HP 6125G/XG ブレードスイッチ」の提供を開始します。

「HP 12504 Switch Chassis」は、10Uサイズのコンパクト設計で、AC100Vにも対応した中小規模データセンターコアスイッチに最適なモデルです。すでに提供中のHP 12500シリーズスイッチを1ラックに4台まで収容でき、1台あたり最大128ポート(Non-Blockingで64ポート)の10Gbポートを実装可能です。

さらに、複数のスイッチモジュールをスタッキングするIRFに対応し、4台のスイッチを論理的に1台のスイッチとして運用できます。また、既存ネットワークを停止することなく機器の増設が可能で、小規模からスタートするクラウドサービス/データセンターサービスにおいて、ビジネス伸張に合わせたネットワーク拡張を可能にします。

「HP 6125 Gブレードスイッチ」、「HP 6125 G/XGブレードスイッチ」は、HP BladeSystem用のL3対応インターコネクトです。ブレードスイッチとして初めてとなる仮想シャーシ機能IRFに対応し、最大10台のスイッチを1台のスイッチとして運用することができます。これにより、複数のスイッチを単一の機器として管理できるだけでなく、複雑なスパンニングツリー構成をとることなく、シンプルな構成での冗長化ネットワークを実現し、高速なフェイルオーバーを実現することが可能です。

今回発表の製品群は、いずれも共通OS「Comware OS」を搭載し、仮想シャーシ機能「IRF」に対応しています。今回のラインアップ拡充により、中小規模から大規模データセンターのネットワークニーズに対して、単一アーキテクチャでシンプルな冗長ネットワークをフルラインアップでご提供可能となりました。

<今回発表の新製品>

製品名	希望小売価格	販売開始日
HP 12504 Switch Chassis	947,100円 (税抜902,000円)	10月25日
HP 6125G ブレードスイッチ	220,500円 (税抜210,000円)	10月25日
HP 6125G/XG ブレードスイッチ	577,500円 (税抜550,000円)	10月25日

<「HP 12504 Switch Chassis」の特長>

「HP 12504 Switch Chassis」は、中小規模データセンター向けの10UのコンパクトサイズにHP 12500シリーズスイッチを最大4台収容が可能なネットワークシャーシです。1シャーシあたり最大128ポート(Non-Blockingで64ポート)の10Gbポートを搭載でき、また複数のスイッチモジュールを論理的に統合するIRF機能に対応し、最大4台のスイッチを1台の論理スイッチとして運用することができます。主な特長は以下の通り。

- コンパクトな10Uサイズで、42Uラックに4台搭載可能
- 仮想シャーシ機能IRFに対応し、最大4台までのスイッチを統合可能
- 12500シリーズ共通のラインカード/電源モジュール/スイッチファブリックを採用

- CLOSアーキテクチャにより、将来的に40Gb/100Gbに対応予定
- AC100V～240V電源、DC電源に対応

<「HP 6125G ブレードスイッチ」、「HP 6125G/XG ブレードスイッチ」の特長>

「HP 6125G ブレードスイッチ」、「HP 6125G/XG ブレードスイッチ」は、HP BladeSystem用のL3対応インターコネクトスイッチです。

「HP 6125G ブレードスイッチ」は、1Gbダウンリンクを16ポートと、1Gbアップリンクを最大8ポート(うち2ポートはIRF接続用として10Gbとして利用可能)、1つの10Gbクロスリンクを備えています。また、「HP 6125G/XG ブレードスイッチ」は、1Gbダウンリンクを16ポートと、1Gbアップリンクを4ポート、10Gb対応SFP+ポートを4ポート(IRF接続用として利用可能)に加えて、1つの10Gbクロスリンクを備えています。

いずれも、仮想シャーン機能IRFに対応し、最大10台のスイッチを1台のスイッチとして運用することができます。これにより、スパンニングツリー(STP)構成をとらないシンプルな冗長化ネットワークが可能となります。主な特長は以下の通り。

- Comware OSを搭載し、HPネットワーク製品と共通アーキテクチャを採用
- 複数のスイッチモジュールを仮想化するIRFに対応し、最大10台のスイッチを1台のスイッチとして運用可能
- 単一のコンフィグレーション情報で管理が可能

■新製品に関する製品情報は以下のURLを参照してください。

http://www.hp.com/jp/proliant_20121025

■日本HPプレスルーム

<http://www.hp.com/jp/pressroom/>

#

文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■お客様からのお問い合わせ先:

カスタマー・インフォメーションセンター TEL: 03-6416-6660

ホームページ: <http://www.hp.com/jp/>

PDFファイルをご覧いただくには、Adobe® Reader® が必要です。
[アドビシステムズ社のウェブサイト](#)より、ダウンロード(無料)の上 ご覧ください。
